事　業　報　告　書

別紙１

団　体　名：　　栃木山岳会

代表者氏名：　　古内 幸吉

期　　間	これまでの活動経緯（３月～12 月）
R４年 ３月	陽だまりハイク＠三峰山　R3 年度に設置した道標の保守管理 及び　R4 年度に予定する道標設置個所の下見
４月	（補助金交付）
５月	・担当者打ち合わせ（栃木山岳会会長宅） 登山道道標、設置個所、デザイン検討
６月	・担当者打ち合わせ（栃木山岳会事務所） 登山道道標、設置個所、デザイン決定
７月	看板業者に６基発注
８月	道標完成、支払い完了
９月	
１０月	
１１月	道標６基、設置，三峰山登山道整備（倒木撤去等）
１２月	報告書提出
R５年 １月	
２月	
３月	

別紙　様式

事　業　実　績　書

事　業　名	三峰山から道迷いをなくし隊
開催日時	令和４年１１月２７日（日）　AM.8：00～PM.3:00
開催場所 （施設名もしくは住所）	三峰山登山道
内　　容	令和４年度は三峰山登山道に道標を６基新設しました。 令和３年度に、夢ファーレのＡコースで補助金を交付していただき、設置した道標は３基でした。当初、栃木山岳会で手作りした 14 基の内、業者に依頼して製作した道標は 2 年で合計９基となり、それを入れ替えることができました。 残りの５基も令和 5 年度には新設できるように準備したいと思います。 今回の設置作業はちょうど紅葉の盛りでしたので、グループや個人で登山を楽しむ方々が多く訪れていました。山岳遭難は高い山に限ったことではありません。身近な低山（といっても栃木市内の最高峰 605m）なので、装備も服装も食料もお手軽に入山することが多いかと思います。だからこそ、だれが遭難しても不思議ではない状況が生まれます。 山岳遭難の態様で一番多いのは道迷い（41.5%）、次いで転倒（16.6%）、滑落（16.1%）です。三峰山には急坂があり、切れ込んだトラバースルートもあり、判りにくい分岐点もあります。尾根沿いでルートと思える箇所や落ち葉で道が判りにくい分岐点に道標を設置しました。
参加人数	８　　人